

夏の大会で野球部応援

南部高校

田辺市龍神村安井、南部高校龍神分校(90人)の生徒有志が、11日に開幕する第92回全国高校野球選手権和歌山大会で硬式野球部をスタンドから応援しようと、ブラスバンドを結成した。同校が自前のブラスバンドで応援するのは初めてで、メンバーは野球部の頑張りを後押ししたいと意気込んでいる。



楽器の練習に励むメンバー(田辺市龍神村で)

メンバーは6人で、久保光真さん(3年)と古久保美有さん(同)、松本志穂さん(1年)がトロンボーン、垣

本大一君(同)がバリトンを担当している。

野球部顧問の伊藤嘉彦教諭によると、同校の夏の大会での応援はこれまで、太鼓と生徒の声援のみ。5年前に「自前のブラスバンドで野球部を応援できれば」と、伊藤教諭が以前勤務していた串本高校から、使われていないトランペットなどの楽器を借りて応援団を結成しようとしたことがあったが、生徒が集まらずに断念した。

今年、前生徒会長の久保さんから「トランペットを吹いて応援したい」という申し出があり、5月から、トランペットの経験がある龍神村小家の計良容子さんと、長年ブラスバンドの指導を続けてきた串本高校元校長の西野政和さん(串本町有田)を学校に招くなどして練習してきた。当初は久保さん1人だったが、

徐々に仲間が増えていった。メンバーは全員が初心者で、楽器の持ち方を教わることからスタート。昼休みや放課後を利用して、ほぼ毎日練習を重ね、応援歌を4曲演奏できるまでに上達した。

久保さんは「1、2年の時に夏の大会の応援に出掛けたが、応援が声だけで寂しかった。野球部みんなが頑張ってくれているので、応援する側も完全燃焼したいと思い、楽器を演奏することにした」。伊藤教諭は「生徒が自主的に申し出てくれたことがうれしい。金管楽器は難しいので初めは心配していたが、短期間でよく演奏できるようになったと感心している。生徒たちの応援を後押しに、野球部にはまずは初戦を突破してもらいたい」と話している。

硬式野球部は2003年度に部員5人で創部。夏の大会には04年度から出場しており、これまで通算2勝。今大会では12日の第3試合(午後2時〜)で紀北工業と対戦する予定。開会式では森本明主将が、創部以来初めての選手宣誓をする。